

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	核-マンツルの相互作用と共進化～統一的地球深部科学の創成～
領域代表者	土屋 卓久 (愛媛大学・地球深部ダイナミクス研究センター・教授)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、我が国が世界をリードする超高压高温実験、精密レオロジー実験、同位体分析、第一原理計算などの分野を結集して、核とマンツルを結合系として捉えることで惑星地球の進化の過程を明らかにしようとする提案である。核とマンツルの共進化は地球の起源と進化に関わる中心的な未解決問題のひとつであり、観測・実験・分析・理論を統合した地球深部科学を創成することの意義は大きい。</p> <p>研究組織は、惑星地球のマンツルとコアの物性、組成、時間変化、システム挙動の解析、第一原理計算、超高压高温実験、精密レオロジー実験、同位体分析のいずれにおいても世界を牽引する成果をあげている研究者が参画する体制になっている。加えて、実験、観測、データ解析、理論構築と検証がうまく計画研究の中に組み込まれており、有機的な連携から領域全体の推進が期待できる。領域代表者には、核とマンツルの相互作用と共進化という軸で領域全体をまとめ、学際的な研究を進めるための工夫が求められる。</p>